

学習状況診断票（理科） 小学校 第5学年

5年 組 番 氏名

領域	問題番号			出題のねらい	評価の観点			
	大問	小問	通番		科学的思考	技能・表現	知識・理解	
A 生物とその環境	1	1	1	発芽の条件について、結果を比較して考えることができる。				
		2	2	肥料のあるなしにかかわらず、インゲン豆が発芽するという結果から、発芽するためには肥料が必要ないことを説明できる。				
		3	3	調べたいことをはっきりさせ、変える条件と変えない条件をはっきりさせて実験を行うことができる。				
	2	1	4	インゲン豆の種子の発芽前と後の変化の様子がわかっている。				
		2	5	実験結果から、種子の中の養分が発芽のために使われていると考えることができる。				
		3	6	発芽前後のインゲン豆の種子にヨウ素液をつけた時の結果がわかっている。				
	3	1	7	ヘチマは受粉によって実ができることがわかっている。				
		2	8	おばな、めばながある植物の受粉のしかたについてわかっている。				
		3 (1)	9	けんび鏡の安全で正しい使い方が身に付いている。				
		3 (2)	10	けんび鏡の使い方の手順が身に付いている。				
	4 選択	A	1	11	メダカの卵の様子の変化がわかっている。			
			2	12	メダカは、卵から養分をとり入れて成長することがわかっている。			
		B	1	11	お母さんのおなかの中にいる赤ちゃんの様子の変化がわかっている。			
2			12	赤ちゃんは「へそのお」から養分をとり入れて成長することがわかっている。				
B エネルギー	5	1	13	てこを使った実験で、変える条件と変えない条件を区別して実験する方法が身に付いている。				
		2	14	てこを使った実験で、てこに加える力の大きさの大小がわかっている。				
		3	15	支点から力点までのきよりが長いほど、加える力は小さくなることがわかっている。				
		4	16	てこをかたけるはたらきが同じになるときのきまりをもとに考えることができる。				
		5	17	身の回りのてこのはたらきを使った道具についてわかっている。				
C 地球と宇宙	6	1	18	気温をはかる正しい方法が身に付いている。				
		2	19	気温をはかった結果をグラフで表すことができる。				
		3	20	一日の気温の変化の記録と天気に関連づけて考えることができる。				
		4	21	一日の気温の変化と天気に関連づけて説明することができる。				
	7	1	22	実際の川の様子とモデルの川を比べて考えることができる。				
		2	23	水の流れる速さのちがいを調べる方法が身に付いている。				
		3	24	流れの内側に土や石がたまる理由を、流れの速さと量から考えることができる。				
		4	25	川岸をコンクリートで固めたり川底にブロックをうめたりする目的を、災害を防ぐこと関連づけて考えることができる。				
					/9	/7	/11	

今後の学習に向けて 自分ががんばりたいところに を付けたり、下線を引いたり しましょう。

「科学的な思考」の力を身に付けるために	<ul style="list-style-type: none"> <li>発芽の条件についてきまりを見つけるために、そろえる条件と変える条件をはっきりさせて、結果を考えよう。</li> <li>てこは、左右のうでの「おもりの数」×「支点からのきより」が同じときつり合うというきまりを使って、てこがつり合うときの「おもりの数」と「支点からのきより」を考えましょう。</li> <li>晴れの日と雨の日は1日の気温の変化が大きく、雨やくもりの日は1日の気温の変化が小さいことをもとに、気温の変化の記録からその日の天気を考えましょう。また、毎日、新聞の天気予報などを見て天気と気温の関係について考えましょう。</li> <li>土のしゃ面をつくって水を流したときのようすを調べるとき、実際の川のようにすどどこがにているのかたくさん見つけてみましょう。</li> <li>実際の川を見て、災害をふせぐためにどんなくふうがされているか考えたり、図書館で調べたりしてみましょう。</li> </ul>
「観察・実験の技能・表現」の力を身に付けるために	<ul style="list-style-type: none"> <li>発芽の条件についてのきまりを予想して、その予想が正しいか調べる方法を自分なりに考えてみましょう。</li> <li>けんび鏡を正しく使うことができるよう、教科書で確かめながら、自分から進んで使ってみましょう。</li> <li>グラフを書くときは、必ず測定した値を点ではっきりとしめすようにしましょう。</li> <li>家庭でも、けんび鏡を安全に、使うためにはどんなことに気をつければよいか、じっくりと教科書を読んでノートに整理してまとめてみましょう。</li> </ul>
「知識・理解」の力を身に付けるために	<ul style="list-style-type: none"> <li>発芽による種子の変化や、受粉による花の変化、受精後の受精卵の変化のようすについて、文章で説明できるようにしておきましょう。</li> <li>てこをかたむけるはたらきについてのきまりを、支点、支点からの距離、といったことばを使って、図や文章で説明できるようにしましょう。</li> <li>実際に花粉がどう運ばれているか、てこのはたらきがどんなところに利用されているか、ということを考えながら身の回りの自然やものを見てみましょう。</li> <li>理科の学習でわかったしくみなどが、毎日の生活の中にないか気をつけてみて、見つけたことを友だちや先生に話したり日記に書いたりしましょう。</li> </ul>